

科目	理学療法学研究法	担当	越智 亮	履修学年	3年
時間数	90分×時限×16回(週1回)	履修区分	必修	単位数	2単位

【授業目標・到達目標】

理学療法研究の手順と学会発表、論文作成に続く一連の流れを学ぶ。到達目標は、以下の3点である；
1) 理学療法における疑問点の解決方法の基礎を理解する、2) 研究の立案と実行及びプレゼンテーションの方法を理解する、3) 論文の構成を理解し、要点をまとめることができる。

【履修注意】

後期に開講される理学療法研究法演習、理学療法研究法特論へとつながる科目であり、論理的思考の構築方法を学ぶ重要な過程を学修するため注意深く聴講し、課題が提示されたときには能動的に取り組む姿勢を必要とする。毎回の講義において10分程度の小テストを行う。

【評価方法】

定期試験60点以上を合格とする(ただし、出席状況、課題への取り組みも評価点に組み入れるため注意)。

【試験について】

筆記試験(出席日数が規定に満たない場合は受験不可)

再試験対象者の条件：60点未満を対象とする

【予習・復習】

各講義の最後に、次回講義の内容を伝達するので、必要事項は予習をすると同時に、講義内で理解できなかった部分についての復習と補填は必ず行うこと。

【教科書】

指定しない

【参考書】

指定しない

【その他の注意事項】

【授業計画・内容】

回数	項目	内容
1	オリエンテーション	卒業課題研究オリエンテーション理学療法と研究
2	理学療法研究の展開1	研究テーマ、研究・実験計画
3	理学療法の臨床と研究(則竹)	臨床と研究、理学療法士と大学院修学
4	理学療法研究の展開2	研究デザイン、対象
5	理学療法研究の展開3	症例研究・基礎医学研究・社会調査
6	データの解釈	基礎統計(確認)、統計に関する用語理解
7	表とグラフ	データの明示、方法
8	文献の検索・収集・整理	資源と目的、方法、注意、整理の仕方
9	倫理申請と書類作成	倫理審査申請書類の書き方
10	プレゼンテーション	ポスター発表、口述発表
11	論文の書き方	論文の構成、投稿手続き、必要書類
12	理学療法研究の実際①	理学療法学専攻教員の研究紹介①
13	理学療法研究の実際②	理学療法学専攻教員の研究紹介②
14	理学療法研究の実際③	理学療法学専攻教員の研究紹介③
15	研究にまつわる諸事情と歴史	研究にまつわる諸事情と歴史、総括
16	期末試験	15コマの復習・確認・総まとめ